

都市再生整備計画

たてばやしえきにし
館林駅西地区

ぐんま たてばやし
群馬県 館林市

令和7年4月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	群馬県	市町村名	たてばやし 館林市	地区名	たてばやし東にし 館林駅西地区	面積	107.4 ha
計画期間	令和 7 年度 ~ 令和 11 年度	交付期間	令和 7 年度 ~ 令和 11 年度				

<p>目標</p> <p>大目標：地域住民が便利で暮らしやすい質の高いまちづくり</p> <p>目標1：地域住民が多世代交流できる空間の整備を実施し、憩いやコミュニティの場を形成する</p> <p>目標2：歩行空間の改善による安全で快適な魅力ある道路整備を実施する</p> <p>目標3：効果的な公共施設の配置によるより質の高い保育サービスを提供する</p>
<p>目標設定の根拠</p> <p>都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針)を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針)</p> <p>○館林市は、江戸時代に城下町として発展し、明治時代後期の東武鉄道伊勢崎線の開通に伴い、製粉・繊維業を中心に近代化が進んだことにより人口が増加し、周辺部に広がるようにまちが形成されていった。本市の人口は平成17(2005)年の79,454人をピークに減少傾向が続いており、平成27(2015)年(76,667人)から令和22(2040)年(59,877人)にかけて21.9%減少する見込みである。高齢化率は令和22(2040)年には37.8%に達すると予測されており、高齢化と人口減少による生活利便性の低下や地域の魅力の低下が懸念されている。</p> <p>○本市では、人口減少、高齢化が進むなかで、地域や町のまとまりを維持しながら集約型都市構造への転換を進めるため、1.安心して子どもが育つ環境づくり 2.多様な世代の交流を通じた地域の核となるコミュニティの場の形成 3.住民ニーズや地域の役割に応じた都市機能の拡充と維持 4.暮らしやすい環境づくり5.歴史・文化・自然など地域の資源を活かして町の魅力を高める 6.館林都市圏の交流・連携の強化の方針に基づき、立地適正化に向けたまちづくりに取り組む。なお、館林駅周辺の中心拠点における都市機能の維持、拡充を図りながらコンパクトなまちづくりを目指す。</p> <p>○公的不動産(PRE)についても、『公共施設等総合管理計画』(令和4年3月改定)では、「公共施設等の管理に関する基本的な方針」の「効果的な施設の配置と運営」として、①ニーズの把握と施設の最適化の検討、②再配置への取組、③まちづくりとの整合、④公民連携の推進を掲げている。加えて、令和5年度にまちづくりを推進するための法人を設立しており、公民連携で都市機能を誘致するための事業に着手している。</p> <p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>○本市では、「第6次総合計画」(令和2年度)において、「人が集まり、市民が自らつくる、にぎわいと魅力あるまちになる」と「社会全体で健やかな子どもの成長を支え、子育ての喜びを感じられるまちになる」を主要な施策目的の一つに掲げている。また、「公共施設等全体個別施設計画」(令和2年度)では、幼稚園・保育園とも老朽化による施設・設備の不具合が増加しており、今後、修繕・改修工事の費用の増加を課題としており、「公立幼稚園・保育園就学前の教育・保育のあり方に関する方針」(令和3年8月策定)では、公立幼稚園における利用者の減少などの課題を解決するための具体策の一つとして公立幼稚園と公立保育園を認定こども園化することを掲げている。また令和4年度の組織機構により、こども家庭総合支援拠点の整備に伴い、相談体制を強化すること、及びこども園・幼稚園・保育園を一体的に運営するために「こども局」を新設し、園児の減少や共働き世帯の増加に対応するとともに幼稚園の効率的な運営を図るため、令和5年度から公立幼稚園の認定こども園化を目指している。</p> <p>○館林駅西地区(以下、「当地区」という。)は、現在、区画道路や公園等の公共施設の整備改善を行うことによる宅地の利用増進を図るため、2地区の土地区画整理事業施行中であり、良好な市街地の形成が進んでいる。しかし、事業開始から30年以上が経過しているがいまだに事業完了に至っていない状況であり、特に公園については整備が進んでおらず、住民への一般開放ができていない状況にあるため、公園整備による多世代の地域住民が交流できる空間の創出が地域住民の利便性向上に必要である。</p> <p>○当地区は、都市計画道路駅西通り線、西部一号線、西部二号線、富士西線という、地区の骨格となる路線が存在しており、特に駅西通り線については、国道122号と館林の顔である東武鉄道館林駅の西口をつなぐ幹線道路として整備されている。駅西通り線は、幅員25mで歩道が7mずつ整備された路線であるが、街灯等も少なく安全性や快適性に劣る部分が残る路線であるため、街路灯等の整備を進めることでより安全で快適な魅力ある道路空間の整備を要する。</p> <p>○公民連携の取り組みとして、令和5年度にまちづくりのマネジメントに取り組む「公民連携組織である一般社団法人を設立。当該法人と連携することで、当地区内の公的不動産に都市機能を誘致することで地域住民の利便性向上に投げる事業を令和6年度から実施。公園や、道路、こども園等の公共サービスの充実に加え、民間企業の施設を誘致しながら質の高い市街地形成を図る。</p>
<p>課題</p> <p>○土地区画整理事業の進捗に合わせて、多世代の地域住民が交流できる憩いやコミュニティの場として公園の早急の整備が求められている。</p> <p>○地区内の主要な幹線道路の歩行空間の改善を図ることで安全で快適な歩きたくなるまちなかの実現が必要である。</p> <p>○幼稚園、保育園とも老朽化による施設、設備の不具合が増加しており、今後、修繕、改修工事の費用の増加が見込まれることから、求められるニーズに対して施設をより有効に活用しながらの施設の統廃合や民営化等が課題となっている。また近年の少子化と女性の就業率の上昇に伴い、保育園等の利用率も上昇し、一方幼稚園の利用率は低下している。そのため、教育の質を確保できるのと同時に、3歳児から5歳児の保護者の就職や離職、出産等といった生活が変化した場合にも現在通っている園を退園することなく、引き続き同一の園に預けられる幼稚園と保育園の統合による認定こども園化が必要となっている。</p>
<p>将来ビジョン(中長期)</p> <p>○館林市第6次総合計画(2021-2030)(令和2年度策定)</p> <p>【施策目的】：人が集まり、市民自らがつくる、にぎわいと魅力あるまちづくり、社会全体で健やかな子どもの成長を支え、子育ての喜びを感じられるまちづくり</p> <p>【施策の方向】：地方創生施策の推進、空き家の利活用の推進、技術と個性がある商店の集積、アントレプレナーの発掘・育成と遊休不動産の活用、コンパクトシティの推進、ウォーカーブルなまちづくりの推進、健全な市街地の形成、市民協働によるまちづくり、妊娠・出産・子育て期の切れ目のない支援、地域子育て支援の推進、質の高い保育サービスの充実</p> <p>○館林市都市計画マスタープラン(2021-2040)(令和2年度策定)</p> <p>【将来都市像】：本市の中心として歩いて楽しめる多様な都市機能が集積するまちづくり(館林地域)</p> <p>【地域づくりの基本方針】都市機能の誘導等による中心拠点としての魅力度向上、館林駅を中心とした歩行者空間の確保、都市再生の効率的な推進、暮らしやすい居住環境の形成、子育て関連支援機能等の充実</p> <p>○館林市立地適正化計画(平成31年度策定)</p> <p>館林駅周辺地区(中心拠点)を主に館林都市圏、また市全域の住民を対象として、都市サービスを提供し、都市活動を行う上で必要となる都市機能が確保されるとともに、今後、その機能の更新を進めるなどにより、機能の維持、拡充を図る都市機能誘導区域とし、本地区を都市機能誘導区域に位置付けており、まちづくりの展開として、ステップ1で出産、子育て環境や交流機能を充実させることにより、都市圏内外から多くの人を市内に呼び込む、ステップ2で既に住んでいる人々に加え、市内に呼び込んだ人々が新たに定住し、世代を引き継いでいけるように、生活関連施設を充実させるとしている</p> <p>【都市機能誘導施設】：子育て関連支援施設、認定こども園、商業施設、地域交流施設</p> <p>○館林市公共施設等総合管理計画(令和3年度改定)</p> <p>【基本的な方針】(1)効果的な施設の配置と運営、(2)維持管理と新規整備、(3)公共施設等の安全確保、(4)総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の整備</p> <p>○公立幼稚園・保育園就学前の教育・保育のあり方に関する方針(令和3年度)</p> <p>【目的】：民間事業者の力を最大限に活用しながら、認定こども園への移行及び施設の統廃合・集約化を視野に入れた子どもに質の高い教育・保育の提供</p>

都市構造再編集集中支援事業の計画

都市機能配置の考え方

- 中心拠点である館林駅周辺地区や地域拠点である城沼東部地区、及び成島駅南周辺地区のうち、既に施設が立地しており、公共交通の利便性が高い地域を都市機能誘導区域として位置づけた上で、都市機能誘導施設の維持や誘導を図る。
- 中心拠点及び地域拠点の役割や方向性に応じた都市機能の維持や誘導を図る。
- 館林駅周辺地区では、中心拠点として必要な都市機能のほか、広域的な役割から求められる機能や地域拠点などの生活サービス機能の補完に必要な機能の維持、誘導を図る。
- 館林都市圏の枠組みにおける機能分担や相互利用、中心拠点や地域拠点間での機能分担や相互利用を進め、都市機能の効率的で持続的な整備、維持を図る。

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方 ※誘導施設を整備する場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

- 現在の市立杉並幼稚園と市立六郷保育園を統合し認定こども園として整備することで、多様化する教育、保育ニーズへの対応を図り、より質の高い保育サービスの提供を図る。

【既存建造物活用事業（誘導施設）】・・・(仮)六郷こども園（認定こども園）改築

都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

- 土地区画整理事業
- 公的不動産(PRE)活用事業

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
公園利用者数	人	西部第一中土地区画整理事業区域内における公園利用者数	遊具や園路等を配置した公園の整備により憩いやコミュニティの場が創出され、地域に住む幅広い世代が交流できる空間ができる。	3人/日	R6年度	30人/日	R11年度
歩行空間に関する満足度	人	駅西通り線の歩行者数	駅西通り線の歩道整備により、歩行者の安全性の確保及び、快適性、魅力向上に寄与され、歩きたくなる地域住民が増加する。	304人/日	R元年度	330人/日	R11年度
保育の定員確保 (0歳児、民間施設を含む)	%	保育の量の見込みと確保量の割合	民間との連携のもと、保育を必要とする児童数の量を確保することで、健やかな子どもの成長を支え、子育ての喜びを感じられる環境の創出	93.0%	H30年度	100%	R11年度

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【地域住民が多世代交流できる空間の整備を実施し、憩いやコミュニティの場を形成する】 幅広い世代が利用できるよう、遊具や園路等を配置した公園を整備することで、地域住民の憩いやコミュニティの場の形成を図る。 加えて、まちづくり法人と連携し、公園利用者が利用する施設を民間の活力で設置することによる交流施設の設置を目指す。</p>	<p>【基幹事業】 公園 【関連事業】 区画整理事業 公的不動産(PRE)活用事業</p>
<p>【歩行空間の改善による安全で快適な魅力ある道路の創出】 歩道内に街灯等を設置することで、歩行者が安全で快適に利用でき、歩きとなる歩行環境への改善を図る。</p>	<p>【基幹事業】 高質空間形成施設</p>
<p>【効果的な公共施設の配置によるより質の高い保育サービスの提供を図る】 現在の市立杉並幼稚園と市立六郷保育園を統合し認定こども園として整備することで、多様化する教育、保育ニーズへの対応を図り、より質の高い保育サービスの提供を図る</p>	<p>【基幹事業】 既存建造物活用事業(誘導施設)</p>
<p>その他</p>	
<p>【認定こども園化スケジュール】 ●令和7年度までに現在の公立幼稚園5園及び公立保育園9園の統廃合を実施し、公立認定こども園5園、公立保育園6園とする</p> <p>【その他官民協働の取り組み事例】 ●まちづくり法人と連携した区域内の普通財産の利活用(令和6年4月～)</p>	

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集集中支援事業)

様式(1)-④-1

交付対象事業費	967	交付限度額	484	国費率	0.5
---------	-----	-------	-----	-----	-----

(金額の単位は百万円)

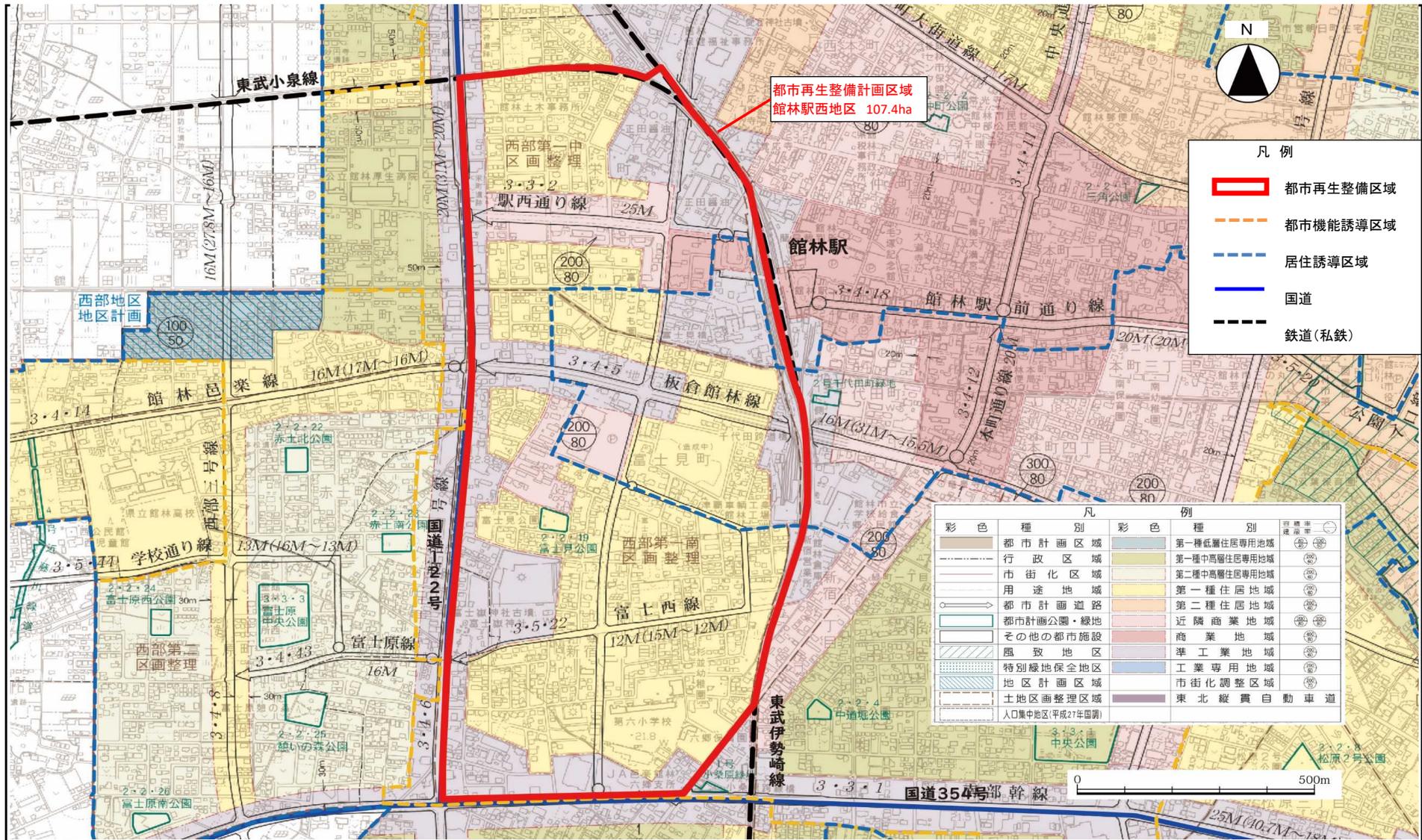
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	費用便益比 B/C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
道路															
公園		栄町1号公園	館林市	直	5000㎡	R7	R8	R7	R8	112	112	112	0	112	
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設 広場															
高質空間形成施設		都市計画道路 駅西通り線	館林市	直	556.3m	R8	R9	R8	R9	20	20	20	0	20	
高次都市施設	地域交流センター														
	観光交流センター														
	テレワーク拠点施設														
	賑わい・交流創出施設														
	子育て世代活動支援センター														
	複合交通センター														
誘導施設	医療施設														
	社会福祉施設														
	教育文化施設														
	子育て支援施設														
	元地の管理の適正化														
基幹的誘導施設															
既存建造物活用事業 誘導施設		(仮)六郷こども園	館林市	直	2174㎡	R8	R11	R8	R11	835	835	835	0	835	
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業															
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
復興促進事業															
エリア価値向上整備事業															
こどもまんなかまちづくり事業															
合計										967	967	967	0	967	…A

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
地域創造支援事業															
事業活用調査															
まちづくり活動推進事業															
合計										0	0	0	0	0	…B

事業	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	
					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
居住誘導促進事業														
合計									0	0	0	0	0	…C
合計(A+B+C)												967		

館林駅東地区(群馬県館林市)

面積	107.4 ha	区域	館林市栄町の一部、本町二丁目の一部、成島町の一部、新栄町の一部、富士見町、新宿一丁目 の一部、新宿二丁目の一部、富士原町の一部、小桑原町の一部、赤土町の一部
----	----------	----	---



館林駅西地区(群馬県館林市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	大目標: 地域住民が便利で暮らしやすい質の高いまちづくり 目標1: 地域住民が多世代交流できる空間の整備を実施し、憩いやコミュニティの場を形成する 目標2: 歩行空間の改善による安全で快適な魅力ある道路整備を実施する 目標3: 効果的な公共施設の配置によるより質の高い保育サービスの提供を図る	代表的な指標	公園利用者数 (人)	3 (R6年度)	→	30 (R11年度)
			歩行空間に関する満足度 (人)	304 (R6年度)	→	330 (R11年度)
			保育の定員確保 (0歳児、民間施設を含む)	93.0 (H30年度)	→	100 (R8年度)

